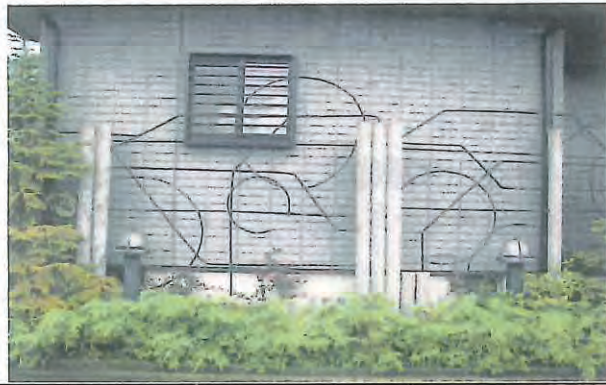


蛸み蛸みず通信

(株)庭園設計事務所
〒193-0823 東京都
八王子市横川町 1096-3
Tel:042-622-8840

VOL.9

遊び心のある庭の楽しさ



後白河法皇が編纂した「染塵秘抄」の冒頭に「遊びをせんとや生まれけん」の言葉がある様、遊び心のあるものにはどこか、その住人のゆとりとか、心の広さが感じられる。

そんな遊び心に豊んだ庭を4例ほどご紹介いたします。

第1例目は、鉄筋で作った柵で20世紀初頭に注目された幾何学的デザインの、“アールデコ”

を想わせ、またどこか現代彫刻を観る様な作例で、洗練された斬新さが中の庭の様子さえ想像させます。

2例目は、ウッドデッキの中の実用性と遊び心を融合した作例です。

デッキの中に土足でも通り抜けできるよう石を嵌め、俯瞰してみると、まるで飛石が地面と続いている様に見え、止めの三角の石が、どこか愉快では有りませんか。3例目、4例目は流れの最初。水の吹き出し口の意匠の遊び心の作例です。

【作例2】



【作品例3】



ひとつは、まるで花弁の様な石を組み上げ、やや破調でダイナミックでもある流れ出し、無変化で暗くなりがちな建物の角を、このオブジェ(?)が引締めて、変化を演出しています。最後は、灯籠の頭、(宝珠)が吹き出し口、これだけでも遊んでいるなあの感じが、さらにこれを横に刻を施し、水の揺らぎを演出している。夏の夕暮れ時、西日を浴びた水の煌めきは、何とも美しい。

【作品例4】



花入門

晩秋から初冬にかけて、淡紫色に咲く、クロッカスに似た花サフラン、そのどちらもアヤメ科の花で、赤い三つのシベはスベイン料理で有名なパエリヤの、あの黄色の染料でもある。

三本のシベの様であるが、元は一つで、これ一本のシベだそう。番紅花と漢字では書き鎮静剤や健胃剤として漢方ではよく用いられるそう。花言葉は「歓喜」。魚介豊富な黄色のご飯、そりゃ、うれしいわな!

天声樹語

柿のてつべんに一つだけ残された柿の実を「木守柿」と歳時記にある。言葉も素晴しいが、そんな文化と“ゆとり”を今号のテーマとしました。

